

## 高等学校理科 総合物理1 様々な運動 热 波 (物理311)

令和5年度用教科書では以下について訂正いたします。ご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げますとともに、ご指導に際しましては、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂正理由
ページ	行			
151	34	おもりにはたらく遠心力の大きさはいくらか。	おもりとともに運動する観測者から見た場合、おもりにはたらく遠心力の大きさはいくらか。	観測者の系を明確にするため
190	8-10	物質が固体から液体へと状態を変える温度を融点、液体から気体へと状態を変える温度を沸点といい、状態が変わるとときに分子の熱運動の様子は大きく変わる。	固体が融解し液体になるときの温度を融点、液体が沸騰し気体になるときの温度を沸点という。物質の状態が変わるとき、分子の熱運動の様子は大きく変わる。	融点および沸点についての記述をより正確な表現にするため
338	21	→p.429	→p.351	誤記
364	中左	光電地	光電池	誤記
365	中左	熱の仕事等量	熱の仕事当量	誤記

### ◆周期表の更新のお知らせ◆

ページ	行	令和5年度用
巻末 ④		(左上の説明文を更新) 最新(2022年)の原子量をもとに (リチウムの原子量を更新) <u>6.94</u> ※ (リチウムの原子量の更新に伴って文章を追加) ※人為的に <sup>6</sup> Liが抽出され、リチウム同位体比が大きく変動した物質が存在するために、リチウムの原子量は大きな変動幅をもつ。したがって、本表では例外的に3桁の値が与えられている。なお、天然の多くの物質中でのリチウムの原子量は6.94に近い。